

モノゴコロ ～宿る想いから生まれる色と形～

対象学年 中学校 1～2年生

想定時間 最低5時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

あなたがまだ幼い頃のこと。身の回りにあるモノでお気に入りのモノに名前をつけたり、生きているかのように関わったりした記憶はありませんか？モノには、人と同じように靈魂、心が宿っているという捉え方（アニミズムといいます）があります。成長したあなたは、今はそのような捉え方をあまりしないかもしれませんが、でも、もし本当にモノに靈魂・心が宿っているとしたら、あなたとの関わりによってそのモノの心にあなたの想いが宿り何かが変化したり生まれたりするとしたら、そのモノはどのような姿形に変わるのでしょうか。愛着のあるモノ、お気に入りのモノと触れながらこれまでの思い出やこれからのこと、自分の想いや悩みなどを対話して、そのモノの変わった姿形をイメージして、具現化しましょう。

- 愛着のあるモノやお気に入りのモノから、対話しやすいモノを選びましょう。
- そのモノの性格や特徴などをイメージして、対話したり感じ取ったりしましょう。
- 対話したことや感じたことなどから、そのモノに宿る想いをふくらませましょう。
- 考えたことを基に、扱う素材や色・形を考えながら、アイデアスケッチをしましょう。
- 素材の特徴を考えて、表したいことをより効果的に表せるように工夫しましょう。
- 色や形の細かい変化、質感、どんな雰囲気なのかを考えながら、道具の扱いも意識して進めましょう。

ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

自己を深める

お気に入りのモノなど対話することを通して、モノの捉え方について考え、自己を見つめることによって、私らしさの自覚を深め、個性を伸ばす手助けになればと考えます。

深く見つめる

視覚や触覚など五感をとおして、モノとの対話などから感じ取ったイメージを多様な方法を試みながら、創造的に実現することを試みます。

三観点

知識・技能

主題に合った材料や用具を意図に応じて工夫し、見通しをもって表す。
宿った想いから生まれる色と形のイメージや雰囲気を捉えて表現に活かす。

思考・判断・表現

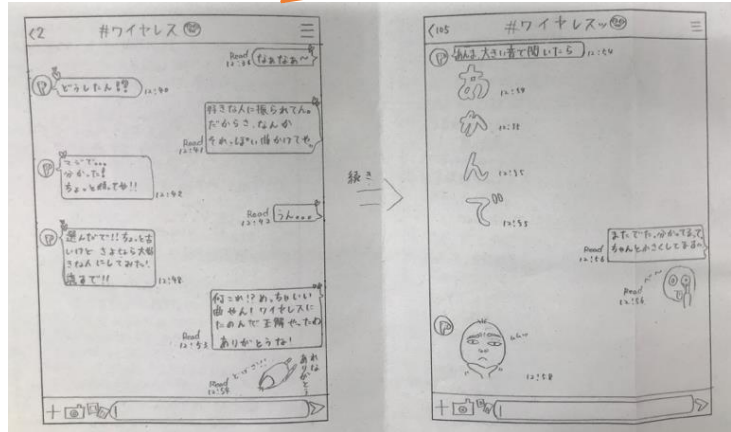
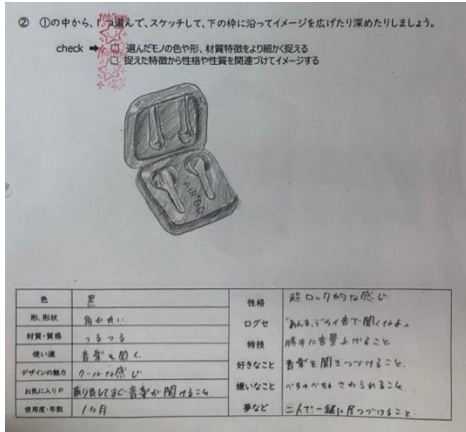
お気に入りのモノなどを見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心が宿ったモノを豊かに表現する構想を練る。

主体的に学習に
取り組む態度

お気に入りのモノとの対話を積極的に行い、どのような想いが宿り、どのような色と形が生まれるのかを自ら進んで考え、調整しながら粘り強く取り組む。

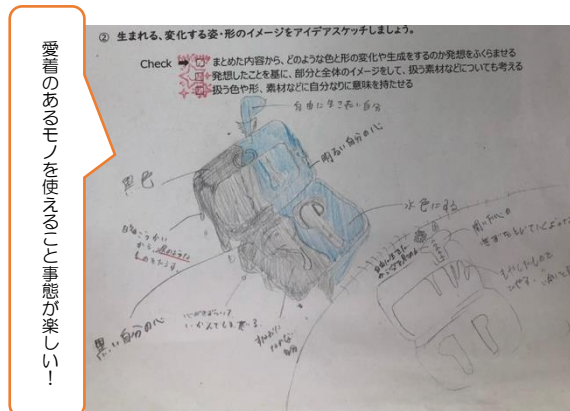
活動の足あと・子どものことば

モノとやりとりしていると、自分の気持ちを再確認していく感じが不思議でした



①愛着のあるモノをスケッチして、モノのココロをイメージしました。

②イメージした内容を基に、そのモノと色々な方法でコミュニケーションをとり、どう捉えているかをより意識する。



愛着のあるモノを使うこと事態が楽しい！

③イメージしたモノのココロを踏まえて、自分の感情が宿ると色と形がどう変化するかをアイデアスケッチして、粘土をベースに試行錯誤・創意工夫しながら進めました。



比較的イメージしたものが早く形になってきたけど、何か物足りない感じがして、先生や仲間とやりとりしている中で、キラキラしたイメージを取り入れることでしっくりきました。

④完成作品。本体が出来上がった後に、表現しきれていないと感じており、相談する中で、背景をプラスすることでイメージを補強することになり、粘土以外の材料も効果的に合わせることをねらい、工夫がなされました。